

研究主題

自ら課題を見つけ、主体的に学ぶ太陽の子の育成

～基礎・基本を身につけ、伝え高め合う算数科指導の工夫・改善～

研究の仮説

基礎・基本を着実に身につけ、

←視点1

児童一人一人が的確に問題と課題をとらえ、←視点2

既習内容を生かして考えたことを、

←視点3

お互いに伝え合えば、

←視点4

より主体的に学ぶ児童を育成できるであろう。



あいさつ

さいたま市教育委員会
教育長 桐淵 博

さいたま市立大谷場東小学校が、さいたま市教育委員会委嘱による「算数教育」研究推進校として、全校をあげて研究に取り組み、ここにその成果を発表されますことに心から敬意を表するとともに、お喜びを申し上げます。

大谷場東小学校では、基礎学力の定着とコミュニケーション力の向上を目指し、算数科指導の工夫・改善の実践的な研究に取り組みました。研究の特色として、学習過程の共通化を図り自力解決と伝え合いの時間を確保したこと、全学年共通でノート指導及びプリントを活用した計算練習を進めたことが挙げられます。その成果として、児童に算数の学び方が定着するとともに、計算力向上などの基礎学力や、伝え合いの力が高まったと伺っております。各学校におかれましては、本研究の成果を自校の実態に応じて活用し、教育活動の充実を図られますことを心から期待いたします。

結びに、本研究に積極的に取り組んでこられました栗栖完校長先生をはじめ教職員の皆様、並びに本研究を御支援くださいました保護者・地域の皆様に心より感謝を申し上げます、あいさつといたします。



あいさつ

さいたま市立大谷場東小学校
校長 栗栖 完

本校は、平成23・24年度、さいたま市教育委員会から研究推進の指定を受け、算数科教育の研究を進めてまいりました。

児童の現状から思考力や表現力に関する課題が指摘され、言語を通して伝え合う力を育成しながら思考する力を高めてゆくことの必要性が示されました。そのことから、算数科における基礎・基本の定着を図るとともに、言語活動を重視した指導方法の研究を進めることとしました。そのために、伝え合うという場を大切に、言語の活動を明確に意識した学習を展開することにより授業を深化させることに努めています。算数科における言語活動を学習の中で具体的に示し、自分の思いや考えを明確にして伝え合い、相互に高め合いながら、学習が発展、深化してゆくよう授業の工夫・改善をめざしてきました。

公開授業を通して、さらに研鑽を深めてゆく所存ですので、皆様の御指導、御助言をよろしく願いいたします。

これまで御指導、御助言を賜りました、さいたま市教育委員会の指導主事の先生方には衷心より御礼を申し上げます。